

子宮頸がん検診について

HPV(ヒト・パピローマウイルス) 検査併用のお勧め

☆HPV とは

HPV とはヒト・パピローマウイルスというウイルスのことです。

子宮頸がんの多くで HPV 感染が関連しているとされています。

HPV の感染原因の一つに性交渉があり、性体験のある方であれば誰でも感染の可能性のある、とてもありふれたウイルスです。感染率は高いのですが、多くは免疫力により、がんを発症することはありません。しかし 何らかの理由で 少数の方が子宮頸がんを発症します。

☆子宮頸がん検査について

子宮頸がん検査では 子宮頸部の細胞診を行います。細胞診と HPV 検査を併用することで 診断の精度をさらに上げることができます。子宮頸がんは、適正な検診を受けることで早期発見できれば、ほぼ100%予防と治療ができるがんと言われています。

☆当院では 子宮頸部細胞診である LBC(液状化検体)を採用しています。

この検査では..

- 細胞診の精度が高い(細胞の異常を見つけやすい)
- 細胞診とHPV検査を同時に一緒に行うことができます

上記のメリットがあります。

—HPV検査を毎回する必要はありませんが、細胞診検査とHPVの併用検診をご検討ください—

上記をお考えのうえ 定期的な検診をおすすめ致します

